

2011 年 8 月 17 日

8月28日の模擬試験と9月初旬の定期試験でよい成績を取るには
- 模試は「過去問」を、定期試験は「教科書」を徹底的に勉強すること -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

(1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

暑い日が続き、夕方になると雷が鳴ったり雨が降ったりして、天候不順な日が多いようです。皆様はどのようにお過ごしでしょうか。

(2)中学3年生は、8月28日の日曜日に、栃木県では下野新聞模擬テスト(下野模試)を、群馬県では群馬統一模試、茨城県では茨城統一テストという模擬試験をお受けになります。そこで今朝の「開倫塾の時間」では、あと1週間余りでどのような準備をしたらよいかについてお話いたします。

(3)また、宇都宮地区はじめ2学期制を導入している栃木県内の半分ぐらいの中学校では、8月末日、もしくは9月初めに前期の期末テストが行われますので、どのようにしたら定期テストで100点を取れるかについてもお話いたします。

(4)小学生や高校生、3学期制で定期テストのない中学生にも参考になりますので、是非お聴き下さいね。

2. 8月28日(日)の模擬試験で偏差値を大幅に上げるには

<講習会テキストを徹底的にやり直す>

(1)まず第一に、開倫塾その他の学習塾や予備校に通い、夏期講習会やお盆特訓、8月分の授業をお受けになっている中学3年生の皆様は、夏休み中に用いたそれらのテキストをスミからスミまでもう一度勉強し直すことが大事です。

*もう一度ていねいに勉強し直して、すべて「理解」し、すべて「定着」つまり身に付けて下さいね。

<過去問5年分を5回解く>

(2)もう一つ大切なことがあります。下野模試、群馬統一模試、茨城統一テストの過去の同じ時期に出題された問題、私はこの「過去に出題された問題」を少し短くして「過去問」と呼

んでいますが、この「過去問」を最低 3 ~ 5 年分をていねいに解いてみることをお勧めします。

できれば、同じ問題を 1 回だけではなく 2 回、2 回だけではなく 3 回と、5 回はやり直すことをお勧めします。

「過去問」はどのような試験でも 5 年分以上を「5 回」繰り返して解くこと。これが、「あらゆるテストに強くなる極意(ごくい)」と言えます。

(3)最後に、「眠る時間」と「生活に必要な時間」以外は、朝から晩まで四六時中必死になって机に向かうこと、そして、8 月 28 日の模擬試験当日は、問題文が配られるまで 1 分 1 秒も無駄にしないことが大事です。

3. 定期テストで 100 点を取るには

(1)「学校の教科書」「学校の問題集」「学校の資料集」「学校の授業中に取ったノート」、この 4 つのテスト範囲について、そこに書いてあることやそこに出ている問題のすべてを「ああこういうことか」とスミからスミまで一語残らず「理解」し、それをスミからスミまで一語残らず、一問残らず身に付ける、覚える、つまり「定着」させることです。

(2)そのために大事なものは 2 つ

わからないことばがあったら「辞書」を引いて調べ、そのことばの意味が「ああこういうことか」とわかった、つまり「理解」できたら、その場で覚えてしまうこと。

教科書などに書いてあることの意味がわかった、つまり「理解」できたら、あとは、スミからスミまで一語残らず覚える、何も見ないでスラスラ言えるようにする、楷書(かいしよ)(教科書の書体)で書けるようにする、計算問題を見たらパッと正解が出せるまでにすること。

そのために、教科書を何回も何十回も、また何百回も声を出して読む「音読練習」を繰り返す。正確に楷書で書けるようになるまで「書き取り練習」を繰り返す。パッパッと正解が出るまで「計算・問題練習」を繰り返す。この 3 つの練習、「定着のための 3 大練習」ですべての科目で 100 点が取れます。

4. おわりに

(1)「練習は不可能を可能にする」ということばがあります。

(2)3.11 東日本大震災の被災地はとても大変です。また、栃木・群馬・茨城の 3 つの県の経済も大変です。そして、日本も、また、世界も、今までにない経済の不安定さを抱えています。このような中で、学校で勉強する皆様はどうしたらよいか。今しなければならぬ勉強を、勉強できるうちにする以外にないと私は考えます。

(3)自分の未来は自分で切り開く。暑い中ですが、この精神でがんばりましょうね。